

第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系案について検討しました。

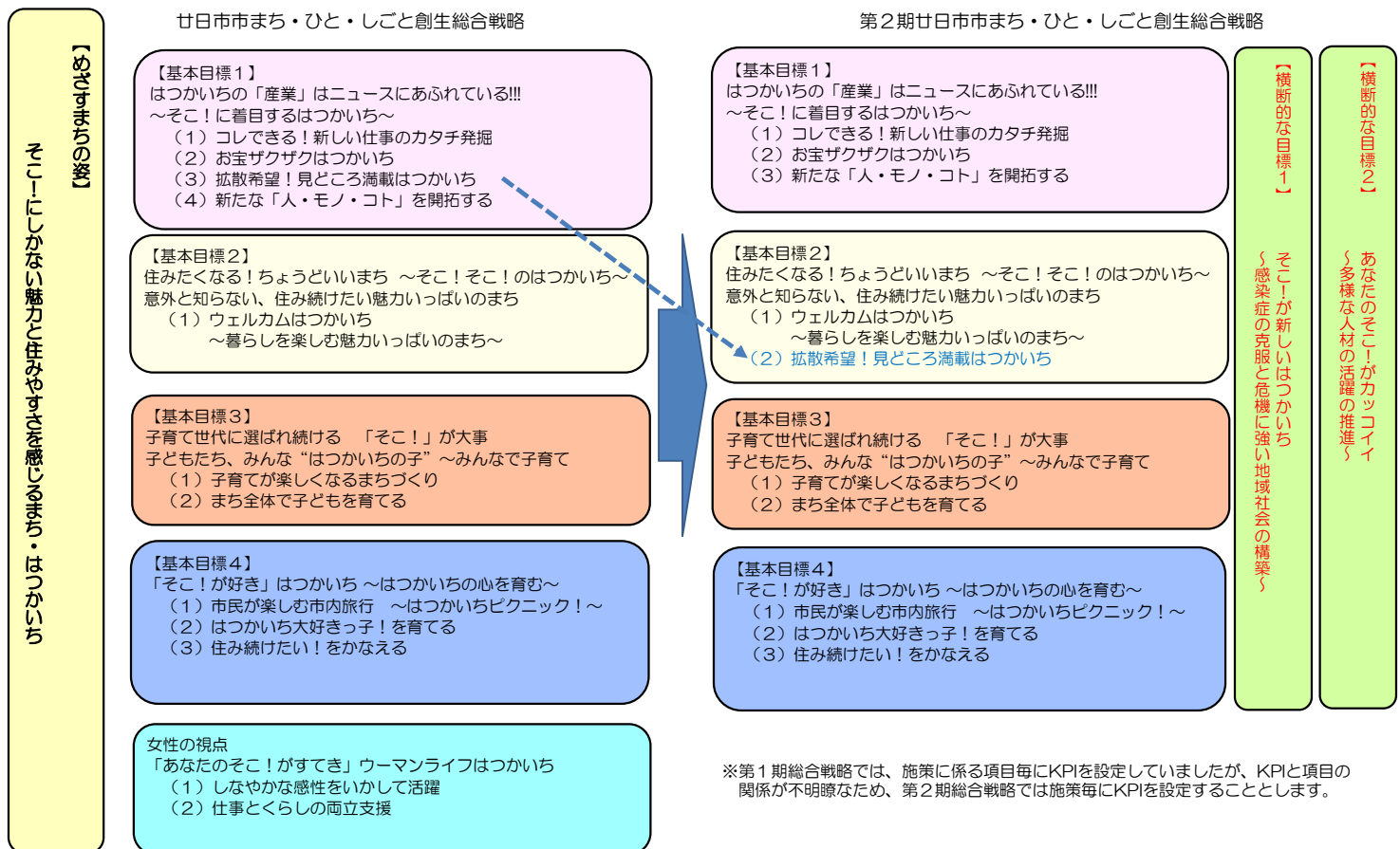
■会議開催概要（第3回）

日時：令和2（2020）年12月28日～令和3（2021）年1月14日
（コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面により開催）

■議事（協議事項）

（1）第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略体系案について

■（1）第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略体系案について



- 第2回検討会議までに議論されていた以下の内容について、基本目標の各分野に横断的に関係することから、横断的な目標として新たに設定します。

第2回検討会議時点案	今回変更案
「基本目標5 そこ！が新しいはつかいち」を追加 (DX※、新しい生活様式への対応)	「横断的な目標1 そこ！が新しいはつかいち」を追加
「全世代・全員活躍型のまちづくりの推進」の観点を反映 (マイノリティを含む全ての人のつながり)	「横断的な目標2 あなたのそこ！がカッコイイ」を追加

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念

■体系案に対する委員の主な意見

基本目標2 住みたくなる！ちょうどいいまち ～そこ！そこ！のはつかいち～ 意外と知らない、住み続けたい魅力いっぱいのまち

- 「(2) 拡散希望！見どころ満載はつかいち」は、インナープロモーションの強化という意味を含むのであれば、「ディスカバリーはつかいち」や「はつかいち再発見」のような、市民の行動変容をイメージできる見出しの方が良いのではないかな。
- 「(2) 拡散希望！見どころ満載はつかいち」の効果を計るKPIとして、市民がイベント等への参加をした結果、市民の動態や心理の変化を計れるKPIとしてはどうか。

基本目標3 子育て世代に選ばれ続ける 「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子”～みんなで子育て～

- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるため、働き方改革による女性の活躍推進や就職・再就職支援、未就労女性への支援も併せて施策として取り組んではどうか(それに合ったKPIも必要)。
- 待機児童の解消は施策として行う必要はないのか。
- 資料3に記載しているKPI「(2) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合」について、母親のみではなく、保護者全般を対象とすべきではないか。

基本目標4 「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～

- 基本目標2の「(2) 拡散希望！見どころ満載はつかいち」と重なる部分が多いため、施策(2)に入れ込むかたちで整理してもよいのではないかな。

横断的な目標1 そこ！が新しいはつかいち ～感染症の克服と危機に強い地域社会の構築～

- 現在の表現では対象が感染症に限定される。例えば、「命と暮らしを守る」「みんなで守る命・暮らし・未来」のような表現の方が、より市民の生活につながることを意識してもらえるのではないかな。
- 「感染症の克服」を削除し、「危機に強い地域社会の構築」とした方が適切ではないか。計画期間の5年間の中では、新型コロナの問題だけでなく、豪雨災害やその他の緊急事態に対する対応も必要となる可能性がありますので、感染症の克服(新型コロナへの対応)を特に強調するよりも、全ての「危機」への対応を強化するという表現の方が良いのではないかな。

横断的な目標2 あなたのそこ！がカッコイイ ～多様な人材の活躍の推進～

- 「多様な人材」に、現戦略で“ウーマンライフはつかいち”というキーワードを挙げて、その活躍を促すことを目指していた女性が含まれていることがわかるように工夫できないか。

横断的な目標全体について

- 横断的な目標とするよりも「戦略を貫く視点」とした方が良いのではないかな。「戦略を貫く視点」に変更する場合、DXやICT環境の整備と活用、協働による地域づくり・まちづくりの視点が含まれていることが分かるようにしてはどうか。